



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年1月30日

上場会社名 シンプレクス・ホールディングス株式会社 上場取引所 東
コード番号 4373 URL <https://www.simplex.holdings/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金子 英樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 江野澤 慶亮 TEL 03-3539-7370
四半期報告書提出予定日 2024年1月30日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	29,951	16.1	6,387	19.0	6,307	20.0	4,245	19.8	4,245	19.8	4,232	18.9
2023年3月期第3四半期	25,808	10.9	5,367	4.2	5,254	4.6	3,544	5.2	3,544	5.2	3,559	△7.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	73.86	70.89
2023年3月期第3四半期	63.49	59.56

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	73,602	44,992	44,992	61.1	780.14
2023年3月期	70,266	41,984	41,984	59.7	733.34

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	14.5	8,800	18.1	8,667	18.8	5,920	9.0	5,920	9.0	102.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	57,671,800株	2023年3月期	57,250,675株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	113株	2023年3月期	113株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	57,472,119株	2023年3月期3Q	55,815,113株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）に記載している通期の基本的1株当たり当期利益は、新株予約権の行使により、期中平均株式数が2023年3月期の期末発行済株式数（自己株式を除く）から424,768株増加すると仮定して算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は、

売上収益	29,951百万円	(前年同四半期比	16.1%増)
営業利益	6,387百万円	(前年同四半期比	19.0%増)
税引前四半期利益	6,307百万円	(前年同四半期比	20.0%増)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	4,245百万円	(前年同四半期比	19.8%増)

となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績において特記すべき事項は以下のとおりであります。

- ① 売上収益は、システムインテグレーション、運用サービスともに売上が好調に推移したこと及び戦略/DXコンサルティングの新規案件獲得により、29,951百万円（前年同四半期25,808百万円、前年同四半期比16.1%増）と過去最高となりました。

売上総利益は12,979百万円（前年同四半期10,685百万円、前年同四半期比21.5%増）と、前年同四半期を大きく上回り、売上総利益率は43.3%（前年同四半期41.4%）と、前年同四半期を上回りました。

販売費及び一般管理費は、主に新卒社員数の増加による人件費の増加や採用・研修の強化などにより、4,899百万円（前年同四半期4,023百万円、前年同四半期比21.8%増）と、前年同四半期より増加しました。研究開発費は1,354百万円（前年同四半期1,076百万円、前年同四半期比25.8%増）と、前年同四半期より増加しました。

また、識別可能資産償却費は312百万円（前年同四半期335百万円）となり、その他の収益に37百万円、その他の費用に64百万円を計上しています。

この結果、営業利益は6,387百万円（前年同四半期5,367百万円、前年同四半期比19.0%増）、営業利益率は21.3%（前年同四半期20.8%）となり、金融収益34百万円、金融費用121百万円、持分法による投資利益7百万円を計上して、税引前四半期利益は6,307百万円（前年同四半期5,254百万円、前年同四半期比20.0%増）となりました。

法人所得税費用は2,062百万円（前年同四半期1,710百万円）となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は4,245百万円（前年同四半期3,544百万円、前年同四半期比19.8%増）となりました。

- ② サービス形態別では、戦略/DXコンサルティングの売上収益は3,008百万円（前年同四半期1,487百万円）と、前年同四半期を大きく上回り、売上総利益率は49.1%（前年同四半期49.1%）と、前年同四半期と同水準となりました。

システムインテグレーションの売上収益は17,940百万円（前年同四半期16,075百万円）、売上総利益率は44.4%（前年同四半期42.1%）と、ともに前年同四半期を上回りました。

運用サービスの売上収益は8,997百万円（前年同四半期8,240百万円）、売上総利益率は39.3%（前年同四半期38.7%）と、ともに前年同四半期を上回りました。

(参考情報)

売上収益のサービス形態別の概況

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)			当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)			
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	利益率 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	利益率 (%)	増減 (百万円)
戦略/DXコンサル ティング	1,487	5.8	49.1	3,008	10.0	49.1	1,521
システムインテグ レーション	16,075	62.3	42.1	17,940	59.9	44.4	1,865
運用サービス	8,240	31.9	38.7	8,997	30.0	39.3	757
その他	6	0.0	100.0	6	0.0	100.0	0
合計	25,808	100.0	41.4	29,951	100.0	43.3	4,144

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、73,602百万円（対前連結会計年度末比3,336百万円増加）となりました。これは主に、現金及び現金同等物が1,418百万円増加した他、オフィス拡充に関連して、敷金及び保証金の差入等によりその他の金融資産が765百万円、設備の購入により有形固定資産が488百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、28,610百万円（対前連結会計年度末比3,328百万円増加）となりました。これは主に、オフィス拡充関連の設備購入により、営業債務及びその他の債務が765百万円増加した一方で、返済により借入金が534百万円減少したことによるものです。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は44,992百万円（対前連結会計年度末比3,008百万円増加）となり、親会社所有者帰属持分比率は61.1%（前連結会計年度末は59.7%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）の残高は14,250百万円（対前年同四半期末比2,414百万円増加）となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、5,595百万円の資金取得（前年同四半期1,512百万円の資金取得）となりました。これは主に、税引前四半期利益6,307百万円の計上によるキャッシュ・フローの増加と、オフィス拡充関連の購入設備にかかる保守費用の支払に伴うその他の流動資産の増加556百万円によるキャッシュ・フローの減少によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、1,244百万円の資金使用（前年同四半期972百万円の資金使用）となりました。これは主に、オフィス拡充に関連する敷金及び保証金の差入による支出596百万円、有形固定資産の取得による支出443百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、2,941百万円の資金使用（前年同四半期2,678百万円の資金使用）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出1,431百万円、リース負債の支払による支出1,140百万円、長期借入金の返済による支出570百万円によるものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月27日に公表した連結業績予想に変更はございません。引き続き経営戦略の着実な実行により、公表数値の達成を目指してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	12,832	14,250
営業債権及びその他の債権	8,820	8,774
棚卸資産	17	16
その他の流動資産	1,245	1,801
流動資産合計	22,915	24,841
非流動資産		
有形固定資産	978	1,466
使用権資産	3,327	3,367
のれん	36,476	36,476
無形資産	721	324
持分法で会計処理されている投資	98	105
その他の金融資産	4,465	5,230
繰延税金資産	953	1,024
その他の非流動資産	333	769
非流動資産合計	47,351	48,761
資産合計	70,266	73,602
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,335	3,100
借入金	1,140	1,140
リース負債	1,249	1,505
その他の金融負債	1	25
未払法人所得税等	911	1,310
引当金	2,610	2,422
その他の流動負債	956	714
流動負債合計	9,203	10,216
非流動負債		
借入金	16,858	16,324
リース負債	2,009	1,837
引当金	213	233
非流動負債合計	19,080	18,394
負債合計	28,282	28,610
資本		
資本金	1,013	1,114
資本剰余金	26,903	27,043
利益剰余金	13,587	16,401
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	481	434
親会社の所有者に帰属する持分合計	41,984	44,992
資本合計	41,984	44,992
負債及び資本合計	70,266	73,602

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	25,808	29,951
売上原価	△15,122	△16,972
売上総利益	10,685	12,979
識別可能資産償却費	△335	△312
販売費及び一般管理費	△4,023	△4,899
研究開発費	△1,076	△1,354
その他の収益	148	37
その他の費用	△33	△64
営業利益	5,367	6,387
金融収益	14	34
金融費用	△127	△121
持分法による投資利益	—	7
税引前四半期利益	5,254	6,307
法人所得税費用	△1,710	△2,062
四半期利益	3,544	4,245
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	3,544	4,245
四半期利益	3,544	4,245
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	63.49	73.86
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	59.56	70.89

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	3,544	4,245
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	6	△18
純損益に振り替えられることのない項目合計	6	△18
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	9	5
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	9	5
税引後その他の包括利益	15	△13
四半期包括利益	3,559	4,232
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	3,559	4,232
四半期包括利益	3,559	4,232

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の 構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	新株予約権	
2022年4月1日残高	814	26,622	9,431	△0		360
四半期利益	—	—	3,544	—		—
その他の包括利益	—	—	—	—		—
四半期包括利益合計	—	—	3,544	—		—
新株予約権の行使 及び失効	116	162	—	—		△46
配当金	—	—	△1,277	—		—
株式報酬取引	—	—	—	—		18
所有者との取引額合計	116	162	△1,277	—		△29
2022年12月31日残高	930	26,785	11,699	△0		332

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素			合計
	在外営業活動体 の換算差額	その他の包括利益 を通じて公正価値で 測定する金融資産	合計	
2022年4月1日残高	16	50	427	37,294
四半期利益	—	—	—	3,544
その他の包括利益	9	6	15	15
四半期包括利益合計	9	6	15	3,559
新株予約権の行使 及び失効	—	—	△46	231
配当金	—	—	—	△1,277
株式報酬取引	—	—	18	18
所有者との取引額合計	—	—	△29	△1,028
2022年12月31日残高	25	56	413	39,825

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					その他の資本の 構成要素
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	新株予約権	
2023年4月1日残高	1,013	26,903	13,587	△0		313
四半期利益	—	—	4,245	—		—
その他の包括利益	—	—	—	—		—
四半期包括利益合計	—	—	4,245	—		—
新株予約権の行使 及び失効	100	141	—	—		△40
配当金	—	—	△1,431	—		—
株式報酬取引	—	—	—	—		6
所有者との取引額合計	100	141	△1,431	—		△34
2023年12月31日残高	1,114	27,043	16,401	△0		279

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素			合計
	在外営業活動体 の換算差額	その他の包括利益 を通じて公正価値で 測定する金融資産	合計	
2023年4月1日残高	25	143	481	41,984
四半期利益	—	—	—	4,245
その他の包括利益	5	△18	△13	△13
四半期包括利益合計	5	△18	△13	4,232
新株予約権の行使 及び失効	—	—	△40	201
配当金	—	—	—	△1,431
株式報酬取引	—	—	6	6
所有者との取引額合計	—	—	△34	△1,224
2023年12月31日残高	30	126	434	44,992

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,254	6,307
減価償却費及び償却費	406	442
識別可能資産償却費	335	312
使用権資産償却費	1,036	1,179
金融収益	△14	△34
金融費用	127	121
持分法による投資損益(△は益)	—	△7
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,699	46
棚卸資産の増減額(△は増加)	4	1
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	8	765
引当金の増減額(△は減少)	△722	△169
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△451	△556
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△392	△242
その他	36	△967
小計	3,927	7,199
利息及び配当金の受取額	14	34
利息の支払額	△61	△58
法人所得税等の支払額	△2,676	△1,963
法人所得税の還付額	307	383
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,512	5,595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△215	△443
無形資産の取得による支出	△158	△4
投資有価証券の取得による支出	△600	△200
敷金及び保証金の差入による支出	—	△596
投資活動によるキャッシュ・フロー	△972	△1,244
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△570	△570
リース負債の支払による支出	△1,062	△1,140
新株予約権の行使による収入	231	201
配当金の支払額	△1,277	△1,431
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,678	△2,941
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,138	1,411
現金及び現金同等物の期首残高	13,966	12,832
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	7
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,836	14,250

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、IAS第12号「法人所得税」(単一の取引から生じた資産および負債に係る繰延税金の会計処理の明確化)を除き、前連結会計年度と同様であります。当該会計方針が、当社グループの要約四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの主な事業内容は、顧客企業のビジネスの成功に貢献するシステムの提案、構築、運用保守に係るITソリューションの提供であり、区分すべき事業セグメントが存在しないため、報告セグメントは単一となっております。

(2) サービス形態別の売上収益及び売上総利益に関する情報

サービス形態別には、戦略/DXコンサルティング、システムインテグレーション、運用サービスがあり、売上収益、売上総利益は以下のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	サービス形態				その他	合計
	戦略/DXコンサルティング	システムインテグレーション	運用サービス	計		
売上収益	1,487	16,075	8,240	25,802	6	25,808
売上総利益	730	6,762	3,188	10,680	6	10,685

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	サービス形態				その他	合計
	戦略/DXコンサルティング	システムインテグレーション	運用サービス	計		
売上収益	3,008	17,940	8,997	29,945	6	29,951
売上総利益	1,478	7,962	3,534	12,974	6	12,979

※システムインテグレーションには、システム・エンジニアリング・サービス等が含まれています。

運用サービスには、運用・保守、共同利用型サービスの他、ライセンス等が含まれています。

その他は、主としてハードウェア・ミドルウェアなどの物品販売であります。